

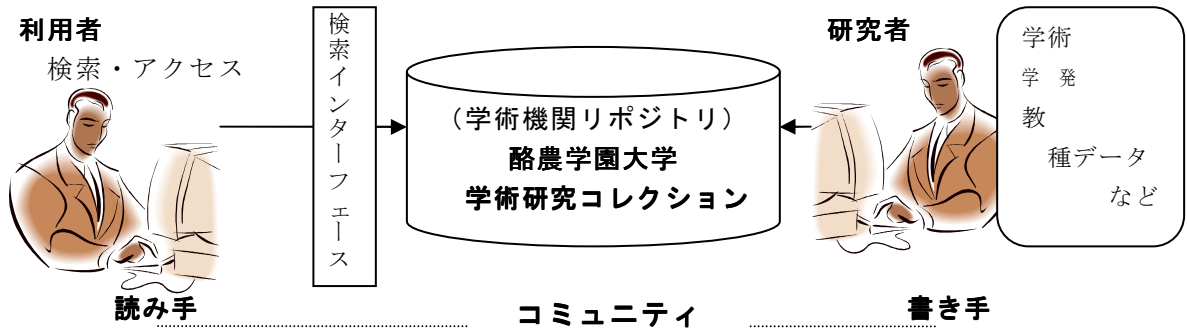
## 「酪農学園大学 学術研究コレクション（仮称）」システム構築

本学で作成された教育・研究成果を収集・蓄積・保存し、インターネットを通じて学内外に公開（発信）するシステムです。

オープンアクセスで情報を共有し可視性を高めることにより、大学の認知度を向上させることを目的とします。大学がどのような研究を行い、どのような成果を上げているかを正しく伝えていくことは「酪農学園」のブランド力の強化に直結されます。

同時に、国立情報学研究所（NII）が推進する次世代学術コンテンツ共同構築事業に参加し、学術情報の発信・流通機能の向上を図るために機関リポジトリの構築・連携の推進を図ることをも目的とし、国立情報学研究所（NII）、現取引出版社を通じてフルテキストの閲覧、入手の経路を確立させます。

「コレクション（collection）からコミュニティ（community）へ」をポリシーに、コミュニティから生まれる価値の創出を目標として構築を目指すため、構築に係るサーバ等機器一式を要望いたします。



なお、初年度構築に係る費用は、コレクション内容として、どのような情報をどのような形式で格納して、どのように公開するかによる技術的な手法に左右されます。

コレクション内容の増加を考えてサーバハードウェアはラック型で拡張性のある機種を選択します。

また、コレクション内容の精査をする過程で学内に点在するサーバ類の集中管理が容易になると推測します。精査前のため概算要望になります。

サーバ	IBM System x3550	950,000
設置導入費用		150,000
ディスプレイ・キーボード・ラック等	IBM	500,000
プリンタ等	EPSON	200,000
OS・アプリケーション・データベース言語等		1,300,000
LAN 接続設定等		200,000
	計	3,300,000

= 3,300 千円